

## 2019年度 第1回稚内市地方創生市民会議 質問等の概要

### ◆2018年度実施状況報告について

質問・意見	回 答
クルーズ船の寄港や、宿泊客数、日本最北端平和マラソン大会について、人数のほかに経済効果も重要と考えるが、把握しているか。	クルーズ船の寄港については現在は把握できていないので、今後把握方法等について検討する。観光の消費額については昨年調査を実施した。マラソンについては把握できていないものの、マラソン大会終了後に観光された方も多ことから経済効果も大きいと考えている。質問にはないが、合宿誘致に関しては、昨年度5,900万円の経済効果があったと算出している。
稚内北星学園大学の入学者確保に苦慮している中、東川町のように、日本語の語学教育や介護の学科を新設することで、多くの留学生（入学者）を呼び込み、さらには地域の雇用に繋げることはできないか。	語学教育を行う人材の確保が難しいが、今後その点についても検討が必要であると考えている。また、外国人の支援等については第2期の戦略でもこういった取組としていくのが良いか検討していく。

### ◆改定案について

質問・意見	回 答
なし	

### ◆地方創生関連交付金を活用した事業について（2018年度実施分）

質問・意見	回 答
なし	

### ◆第2期総合戦略の骨子案について

質問・意見	回 答
基本目標4において、「地域共生社会」と「地域包括ケアシステム」は混在しないよう整理すべき。	
求人と求職のミスマッチは、何が要因なのか。単純に職種のミスマッチなのか。	現在、建設業や医療・福祉系で求人が多いが、一般的には大変・辛いといったイメージがあり、若い世代は嫌煙する傾向にある。
求人求職のミスマッチに加え、若い世代の方の早期離職も問題となっているので、皆さんと知恵を絞り合い、解決していきたい。	
稚内は水産のまちだが、朝市のようなものはないのか。	過去には朝市のようなものを決まった日に実施していた漁組もあったが、運営者の人手の問題や漁獲量の予測も難しく、継続できなかったものと考えている。改めて、各関係者とも検討する。
稚内は水産のまちだが、北星学園大学に水産関連の学部はないのか。	北星学園大学は30年前に短期大学として創設されたが、教師や学生の確保を含め、総合的に考慮した場合に水産学部の設置は難しいとの判断であったと思っている。
エネルギーの地産地消に向けた活動は進めていくのか。	地産地消のエネルギー会社を2021年度までに設立することを目指し、現在も各関係機関や団体と協議を進めており、今後も進めていく。

<p>生涯学習センター「風〜る」でのサークル活動に参加される方が固定されているので、多くの地域住民が参加できるよう力を入れてもらいたい。</p>	
<p>道内7空港の一括民間委託を踏まえた稚内空港の活用は、JR宗谷線の維持や2次交通の充実など、この地域全体を盛り上げる大きな起爆剤になると思うので、大きく取り扱ってもらいたい。</p>	
<p>各目標や施策において、横軸・横の繋がりが見えるようになると推進力が高まると思う。</p>	<p>この点についても十分意識して、第2期戦略を策定していく。</p>